

事務事業名		ごみ減量推進対策事業				評価区分(事前評価・事後評価)			事後評価(A・B表)		
政策体系	基本目標	1 地域の特色を活かした快適なまちづくり				事業区分	担当組織	担当部	市民生活部	担当課	クリーン推進課
	政策	3 環境にやさしいまちづくり					担当係	リサイクル推進係	担当課長名	山田弘	
	施策	1 ごみの発生抑制と資源の有効活用					新規事業・継続事業	継続事業			
	基本事業	1 3R運動とごみ減量化の推進					実施計画事業・一般事業	実施計画事業			
予算科目	短縮コード	会計	款	項	目	予算細事業名					
	7910	一般	4	2	1	ごみ減量推進対策事業					
事業計画	単年度繰り返し	事業期間	平成9年度～ 年度		根拠法令等	佐野市廃棄物の処理及び清掃に関する条例					
						市単独事業・国県補助事業	市単独事業				
						任意的事業・義務的事業	任意的事業				
						実施方法	直営				
						事業分類	広報・広聴・啓発事業				
						リーディングプロジェクト	該当なし				
						市長マニフェスト	該当なし				

1. 事務事業の現状把握【DO】

(1) 事務事業の手段・目的・結果・各指標

① 手段(事務事業の主な活動内容を記入します。)

事業概要(具体的な事務事業の活動内容・進め方)	平成26年度実績(平成26年度に行った主な活動内容)						
3Rの趣旨に基づき、佐野市が実施するごみを減量化諸事業を実施する。	○リデュース事業 市民、事業者への適正排出指導、ごみ分別説明会、ごみ分別排出優良町会表彰、事業者とのレジ袋削減協議等						
①リデュース事業 市民、事業者への適正な分別・排出指導、レジ袋削減の推進、ごみ減量に関する市民団体等との協議	○リユース事業 再生品展示提供に供する商品の確保、再生作業、エコ・ライブラリーに提供する書物の確保と清掃作業等						
②リユース事業 再生品展示提供、本のリユース等	○リサイクル事業 廃食用油リサイクル						
③リサイクル事業 廃食用油の回収とリサイクル	活動指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(見込)	28年度(見込)	29年度(見込)
	ごみ減量化説明会・個別説明・ごみステーションでの減量化説明実施者数	人	673	738	720	730	740
	レジ袋削減関連取組回数(会議、キャンペーン、事業者訪問、マイバッグ作成講習会)	回	14	18	29	31	33
	再生品展示提供において提供した品の重量	kg	7,298	6,502	7,750	8,000	8,250

② 対象(この事務事業は誰・何を対象としていますか?)

市民	対象指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(見込)	28年度(見込)	29年度(見込)
	人口	人	123,182	122,582	121,522		

③ 意図(この事務事業によって、対象をどのような状態にしたいのですか?)

目的	ごみの減量化とリサイクル意識が向上する。	成果指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)	29年度(目標)
		ごみ減量に取り組んでいる市民の割合	%	73.1	46.1	49.0	50.0	51.0
		マイバッグなどを持参して買い物し、レジ袋をこたわっている	%	54.9	46.0	50.0	53.0	55.0

④ 結果(どのような結果に結びつきますか?)

ごみの減量化と再資源化が促進され、焼却処分、埋立処分の量が減少し、また、資源の有効利用が促進される。	上位成果指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)	29年度(目標)
	再生利用率=再生利用量/ごみ排出量	%	15.7	14.2	25.0	27.5	30.0
	最終処分量=最終処分量/ごみ排出量	%	6.56	6.90	6.23	6.07	5.90

(2) 総事業費の推移・内訳

事業費 投入量	財源内訳	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)	29年度(目標)				
	国庫支出金	千円									
	県支出金	千円									
	地方債	千円									
	その他	千円		393	430	128	128				
	一般財源	千円	62		982						
	事業費計(A)	千円	62	393	1,412	128	128				
	事業費の内訳	千円	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	
			消耗品費	62	消耗品費	356	消耗品費	40	消耗品費	40	
					作成委託料	37	作成委託料	76	作成委託料	88	作成委託料
						備品購入費	1,296				
人件費	人	3	4	4	4	4					
のべ業務時間	時間	600	600	600	600	600					
人件費計(B)	千円	2,335	2,365	2,365	2,365	2,365					
トータルコスト(A)+(B)	千円	2,397	2,758	3,777	2,493	2,493					

事務事業名	ごみ減量推進対策事業	担当部	市民生活部	担当課	クリーン推進課	担当係	リサイクル推進係
-------	------------	-----	-------	-----	---------	-----	----------

(3) 事務事業を取り巻く環境変化・市民の意見等

①この事務事業は、いつ頃、どのようなきっかけで開始しましたか？	容器包装リサイクル法の施行により、平成10年4月からよりきめの細かい分別排出が始まった。合併後、平成18年3月にごみの減量と3R推進の拠点施設となるみかもクリーンセンターリサイクルプラザが竣工し、これまでできなかったリユース・リサイクルの具体的な取り組みが始まった。
②事務事業を取り巻く環境(対象者や国・県などの法令等、社会情勢など)は事務事業の開始時期や合併前と比べてどのように変化していますか？	地球温暖化の進行や資源の枯渇見通し等の環境意識の高まりにより、3Rの趣旨に基づくごみ減量の取り組みはますます必要なものとされている。また、リサイクル諸法が制定されるなど地方公共団体の担う役割は増大している。
③この事務事業に対して、関係者(市民、議会、事務事業対象者)からどのような意見・要望がありますか？	再資源化の可能なごみの更なる分別、再使用の推進、「もったいない」運動について、議会において意見が出されている。レジ袋削減の取り組み等は、市民の意識も高く、市の取り組み姿勢が問われている。

(4) 前年度の評価結果に対する改革・改善の取組

前年度の評価結果	評価結果を受けて行った具体的な改革・改善の取組
事業のやり方改善(成果向上の見直し)	リデュース事業の「レジ袋削減」、リサイクル事業の「廃食用油リサイクル」は新たに取り組む事業として、対外的に認識されており、市・事業者・市民のそれぞれの役割を確認し、早急に事業化する必要がある。

2. 事務事業の事後評価【Check】

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 この事務事業の目的(対象・意図)は、政策体系(結果)に結びついていますか？	理由・改善案	ごみの減量化、再資源化には市民のごみ問題、資源の有効利用、さらに環境問題に関する理解が必要であり、啓発活動は欠かせない。
	②公共関与の妥当性 なぜこの事務事業を市が行わなければならないのですか？ 民間やNPO、市民団体などに委ねることはできませんか？	理由・改善案	一般廃棄物の処理は市の事務であり、これに包括されるごみの減量化、再資源化の啓発は市が主体となって行わなければならない。
	③対象・意図の妥当性 事務事業の現状や成果から考えて、対象と意図を見直す必要がありますか？	理由・改善案	ごみの排出者である市民、事業者に対し、ごみの減量化、再資源化について啓発を行うことは妥当である。
有効性 評価	④事務事業の成果向上余地 事務事業の成果は出ていますか？ 事務事業のやり方・進め方を見直すことで成果を向上させることができますか？	理由・改善案	リサイクル率は数字的にはまだ低いので、成果の向上の余地はある。
	⑤類似事務事業との統合・連携の可能性 類似の目的や活動形態を持つ他の事務事業がありますか？ ある場合は、その事務事業との統合・連携ができますか？	理由・改善案	類似事務事業名 3R啓発事業、みかもクリーンセンター、葛生清掃センター維持管理運営事業 本事業は、上記に掲げた各事業と不可分であり、施設の適切な維持管理運営に絡めて、積極的に連携させていかなければならない。
効率性 評価	⑥事業費・人件費の削減余地 事務事業の成果を低下させずに事業費・人件費を削減することができますか？	理由・改善案	必要最小限の経費の計上であり削減の余地はない。
	⑦受益者負担の適正化余地 この事務事業の受益者は誰ですか？事務事業の目的や成果から考えて受益者負担を見直す必要がありますか？	理由・改善案	市事業として実施するものであり、受益者負担を求めるものではない。
総合 評価	⑧本事業の休止・終了条件(本事業はどんな状態になれば休止・廃止、事業終了となるか？) 市民生活・事業所活動がある限り、本事業は、時代に合わせて持続発展していかなければならない。		

3. 評価結果の総括と今後の方向性【Action】

(1) 今後の事務事業の方向性	(2) 改革・改善による期待効果	(3) 改革・改善を実現するうえで解決すべき課題(壁)とその解決策																							
事業のやり方改善(成果向上の見直し) * 評価結果に基づいた改革改善案を記入します。(複数ある場合は、①②...と記入します。現状維持の場合は記入しません。) ①レジ袋の削減については、消費者及び事業者が取り組みやすい方法で推進し、リデュースをはじめ3Rに対する市民の意識の向上を図る。 ②再生品展示提供については、現場職員と連携を密にし、再生量を増やすように努める。 ③廃食用油のリサイクルは、まずは廃食用油の回収に力を入れ、回収量を上げていくものとする。	廃止・休止の場合は、記入不要 ×の領域は改革改善ではない。 <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <tr> <td colspan="2"></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td>①②</td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td>③</td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上		①②		維持		③	×	低下		×	×	レジ袋の無料配布中止の方向転換を図るが、改めて仕切り直しとなる。最終的には事業者の経営的判断があるので、様々な考え方に立っている事業者の利害を調整し、実施に結びつけることは難しい。
		コスト																							
		削減	維持	増加																					
成果	向上		①②																						
	維持		③	×																					
	低下		×	×																					